

## 1 はじめに

本校は各学年単学級という小規模校である。少人数であるが故に、どうしても学校行事等において盛り上がり欠ける部分があり、それを教員も生徒も課題と捉えていた。今年度の生徒会スローガンには、生徒一人一人の個性を生かし、色々な良さを引き出し合い、助け合い、互いに補い合っていこう…という意味を込め、『RAINBOW』に決定した。この生徒会スローガンを踏まえ、少人数の良さや強みを生かしながら、一人一人が主体となり、活気あふれる学校づくりのために何ができるかを考えた。

## 2 実践

### (1) 小集団内での自己有用感を高める活動

#### ア 文化祭での一人一役

2学期に行われた文化祭では、生徒全員が実行委員となり、運営に携わった。当日までの約二か月間、同級生だけでなく先輩や後輩と深く関わりながら活動する姿が見られた。生徒たちの新たな一面を発見し、良さに気づく場面が生まれた。

#### イ 異学年間の交流を深める縦割団活動



生徒会役員から提案があった縦割団活動を、今年度初めて取り入れた。各学年を3つの団に分け、3学年から各団のリーダーを、1、2学年から学年リーダーを決めて活動を行った。1学期に組織を作り、2学期には縦割団対抗を取り入れた体育祭や文化祭を実施した。体育祭では、どの種目も他学年の生徒とペアを組むことを重視した。互いに声をかけ合い、アドバイスをし合い、練習に取り組む様子が見られた。3学年においては種目リーダーを決め、団員みんなで勝利のために気持ちを高めていく姿があった。

2学期後半からは、月一回の愛校日活動も縦割団での取組とし、清掃活動を行った。次年度のことを考え、2年生リーダーが主となって企画した。3年生はサポートにまわったため、2年生リーダーにとって異年齢集団を引っ張るという次期団長・副団長としての意識を高めることにもつながったと考える。

### (2) 愛校心を高める活動

#### ア 愛校日

創立記念日（9月26日）の創立記念集会に加えて、毎月26日前後に愛校日を設定している。愛校日に行う様々な活動を通して、愛校心を高め、より良い学校をつくろうとする気持ちを育てている。各専門委員会や各縦割団による企画運営で、「学級旗&学級目標発表」、「スポーツ大会応援メッセージ」、「坂中をきれいにし隊！」などをテーマにした愛校日活動を行った。

## 3 成果と課題（○成果、●課題）

- 文化祭での一人一役や縦割団活動によって、普段話す機会がない他学年の生徒と話すようになり、廊下ですれ違う際に、先輩と後輩が言葉を交わす場面が増えた。横だけでなく縦のつながりを深めることができたと感じる。
- 学級内で目立つ発言がなかった女子生徒が、文化祭でコーナー司会という表舞台に立ち、堂々と務めた。その後、授業内や部活動内において、はきはきと話すようになり、発表する場面が増えた。多くの経験や関わりが生徒にとって自信をもつことにつながったと考える。
- 役割を与えることによって、生徒一人一人の負担が大きいく。生徒数減少に伴い、行事の規模を縮小する必要性も考えながら、充実した学校生活を送ることができるよう支援していきたい。